

# 大阪 OSAKA あそ歩 ASOBO

## 「風林火山」の花将軍、見参！

～北畠顕家ゆかりの地をたずねて～

日本に2つの王朝が存在して、それぞれが正当性を主張して戦乱に明け暮れた南北朝時代。かつてない未曾有の混迷の時代に、ひとりの若武者が阿倍野の原野を駆けめぐりました。准大臣・北畠親房の長男にして従二位・権中納言の北畠顕家その人です。眉目秀麗の公家でありながら、「風林火山」の旗印を用いて戦場に赴き、その勇猛果敢な武者ぶりに、敵方からも「花将軍」とまで讃えられました。その短くも美しい生きざまに迫ります。

### 1 阿倍寺塔心柱礎石(天下茶屋公園内)

阿倍寺は阿倍氏の氏寺と考えられています。一族には中臣鎌足らと大化の改新(645年)を推進した孝徳朝の左大臣・阿倍倉梯麻呂(阿倍内麻呂)がいました。塔心柱礎石は阿倍野区松崎町にありましたが現在はここに保存され、大阪府の文化財考古資料に指定されています。

### 2 是齋屋跡(天下茶屋公園内)

薬屋是齋屋は寛永年間(1624～44)に、近江国の津田宗右衛門が住吉街道に面した当地へ来て「和中散」という薬を商ったのが起こりです。街道の旅人達で大いに繁盛したといわれています。

### 3 安養寺

昌芳山・安養寺は浄土宗知恩院派一心寺の末寺です。本尊は阿弥陀仏で元禄2年(1689)3月、貞清清薫尼の創建です。明治20年(1887)の失火と昭和20年(1945)の戦災で2度焼失し、現在の寺は昭和34年(1959)再建時のものです。境内には「心中天の綱島」の紙治の妻・おさん、猪名川右衛門と佐藤魚丸の墓があります。

### 4 天神森天満宮

室町末期の茶匠・武野紹鷗が当地の森林に湧く泉水を愛し、歳月を送った所です。北野天満宮の分霊を勧請して菅原道真公を祀っています。社殿東側に子安石という霊石があって、安産のご利益があると参拝者で賑わったので子安天満宮ともいわれました。太閤さんも淀君が懐妊して住吉大社参拝の途中、安産祈願したと伝えられています。

### 5 天下茶屋跡

太閤秀吉が住吉大社参拝や堺への往来の際、ここの茶店で休息、茶の湯を楽しむ付近の風景を賞したこと、この茶店を天下茶屋と呼ぶようになりました。その由来を示す建物(芽木家)は戦災で焼失し、現在は天下茶屋跡として、くすのきの大樹と土蔵、石像だけが残っています。昭和62年(1987)に現在のものに修復されました。(大阪市顕彰史跡)

